

読 響  
Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

ヴァイオリンの女王  
ムローヴァが登場!

# ロミオと

切なく美しい愛の旋律、激しく胸に迫るリズム。

大管弦楽で描かれた《究極のラブストーリー》

# ジュリエット

ベルリオーズ

Berlioz: "Le carnaval romain" Overture, op. 9

序曲「ローマの謝肉祭」 作品9

シベリウス

Sibelius: Violin Concerto in D minor, op. 47

ヴァイオリン協奏曲ニ短調 作品47

プロコフィエフ

Prokofiev: Excerpts from "Romeo and Juliet"

バレエ音楽「ロミオとジュリエット」から

モスクワで学び世界に羽ばたいたクールな技巧派  
アバド、小澤らの指揮でベルリン・フィルなどと共演

ヴィクトリア・ムローヴァ

《ヴァイオリン》 Violin: Viktoria Mullova

2016年 読売日本交響楽団 第187回 土曜マチネーシリーズ

5/28 土

東京芸術劇場コンサートホール

Saturday Matinée Series No.187  
Saturday, 28th May 2016 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

14時開演 S ¥7,500 A ¥5,500 B ¥4,500 C ¥3,000 **SOLD OUT**

2016年 読売日本交響楽団 第187回 日曜マチネーシリーズ

5/29 日

東京芸術劇場コンサートホール

Sunday Matinée Series No.187  
Sunday, 29th May 2016 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

14時開演 S ¥7,500 A ¥5,500 B ¥4,500 C ¥3,000 **SOLD OUT**

2016年 読売日本交響楽団 第592回 名曲シリーズ

5/31 火

サントリーホール

Popular Series No. 592  
Tuesday, 31st May 2016 19:00 / Suntory Hall

19時開演 S ¥7,500 A ¥6,500 B ¥5,500 C ¥3,000 **SOLD OUT**

Hibiki to the World



SUNTORY HALL

30th

英国ボーンマス響の首席指揮者を務め、  
欧州で熱い注目を浴びる新鋭指揮者

キリル・カラビッツ

《指揮》 Conductor: Kirill Karabits

お申し込み・お問い合わせ ● 読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

主催 ● 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 事業提携 ● 東京芸術劇場(5/28,29)

http://yomikyo.or.jp/



# カラビッツ×ムローヴァ 旧ソ連出身のふたりの音楽へ込める想い

今年が没後400にあたる文豪シェイクスピアの作品中、最も有名な作品のひとつが「ロミオとジュリエット」だろう。20世紀前半のソ連で生きたプロコフィエフは、若い二人の恋愛悲劇を彼一流のスマートな語法とスタイルで物語をダイナミックなバレエ音楽として現代に甦らせようと企んだ。

時は1930年代、スターリンの独裁体制下で芸術は政治に翻弄され、音楽家たちは粛清におびえていた。プロコフィエフは万人に受け入れられる社会主義リアリズムの芸術を強要されながらも、新古典主義の清澄さに貫かれたロマンティックな音楽を書き上げた。

キエフ生まれの俊英指揮者カラビッツは、激動の20世紀ソ連に生を受けた音楽家として、プロコフィエフに全面的な共感を寄せている。2009年から首席指揮者を務める英ボーンマス響と録音したプロコフィエフの交響曲全集は、バイタリティーあふれる熱狂からメランコリックな感傷まで、振幅の大きな感情表現で群を抜いている。「ロミオとジュリエット」も古典劇の飾り気のない情感に20世紀の屈折した陰影を映しこんだものになるだろう。

前半にシベリウスのヴァイオリン協奏曲を弾くムローヴァは、ソ連時代のモスクワに生まれ、チャイコフスキー国際コンクールに優勝しながら、若くして祖国から逃れた経験を持つ。彼女のヴァイオリンに一種独特の暗さがあり、時に厳しい表情を見せるのは、そのせいかもしれない。人智を超えた大自然の息吹を伝えるシベリウスの協奏曲に、甘い感傷が入り込む余地はない。ムローヴァの峻厳とも言える音色はぴったりだ。カラビッツの鋭敏な指揮棒の下でどんな歌を奏でるのか、目が離せない。



©Sasha Gusov

## ヴァイオリン=ヴィクトリア・ムローヴァ Violin: Viktoria Mullova

上品な深みのある美しい音、完璧な技術、深い知性を兼ね備えた現代最高峰のヴァイオリニスト。モスクワ中央音楽学校に学び、モスクワ音楽院にてコーガンに師事。シベリウス国際コンクールやチャイコフスキー国際コンクールで優勝。1983年に西側に亡命し、大きな話題となり、その類稀な才能は世界的に注目を浴びた。ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ロンドン響、ボストン響など世界の主要オーケストラに招かれ、アバド、マゼール、メータ、ラトル、ムーティ、小澤征爾、ハイティンク、ブーレーズら一流指揮者と共演。さらにザルツブルク音楽祭をはじめ、数々の国際音楽祭にも出演している。その深い探究心から、レパートリーはバロック音楽やコンテンポラリー、ワールド・ミュージック、実験音楽まで多岐にわたる。CD録音では、フィリップスやオニックス・レーベルなどから数多くリリースしており、いずれも高い評価を得ている。

## 指揮=キリル・カラビッツ Conductor: Kirill Karabits

次世代の巨匠として注目を浴びるウクライナの新鋭。現在は英国の名門ボーンマス響の首席指揮者を務めており、幅広いレパートリーによる意欲的な取り組みは、高く評価されている。特に2013年から「プロコフィエフ・サイクル」と銘打ったCD録音は、世界の名だたる音楽専門誌などで絶賛され、大きな話題となった。2016年9月からは、ドイツの歴史あるヴァイマル国民劇場の音楽総監督に就任する。これまでに、ウィーン響、ロンドン・フィル、クリューヴランド管、BBC響、ベルリン・コンツェルトハウス管、フランス国立管など世界の一流楽団に客演。2016年8月には、シカゴ響にデビューする。オペラでも活躍しており、ハンブルク歌劇場、シュトゥットガルト歌劇場、ポリショイ劇場、バーゼル歌劇場などに客演している。来シーズンにはベルリン・ドイツ・オペラにムソルグスキー「ボリス・ゴドゥノフ」でデビュー予定。今回が読響と初共演となる。



©Foto Puck

読売日本交響楽団 第187回 土曜マチネーシリーズ  
2016年 **5月28日**(土) 14時開演

東京芸術劇場 コンサートホール  
S ¥7,500 A ¥5,500 B ¥4,500 C ¥3,500

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111  
■JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分(\* 駅地下通路2b出口と直結しています)

読売日本交響楽団 第187回 日曜マチネーシリーズ  
2016年 **5月29日**(日) 14時開演

東京芸術劇場 コンサートホール  
S ¥7,500 A ¥5,500 B ¥4,500 C ¥3,500

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111  
■JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分(\* 駅地下通路2b出口と直結しています)

読売日本交響楽団 第592回 名曲シリーズ  
2016年 **5月31日**(火) 19時開演

サントリーホール  
S ¥7,500 A ¥6,500 B ¥5,500 C ¥3,000

東京都港区赤坂1-13-1 Tel:03-3505-1001  
■東京メトロ南北線 六本木一丁目駅(3番出口)より徒歩約5分  
■東京メトロ銀座線 溜池山王駅(13番出口)より徒歩約7分

(サントリーホール30周年記念参加公演)



【託児サービス】東京芸術劇場には一時託児施設があります。だっこルーム 03-3981-7003 (5/28,5/29)

◎学生券:学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

◎団体割引:読響チケットセンターにて同一公演の1回券を10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。

■都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

■10:00-18:00 年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

■座席選択してチケットをご購入いただけます。(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)  
■郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。